

秩父の人形サミットをみて

3月1日

横瀬、白久の人形芝居に続いて皆野の出牛人形浄瑠璃でしたが、当日はプロの義太夫の方の演奏でした。大向うから声がかかり、気合が盛り上がるなかでの太夫の声に引き込まれました。すごい迫力でした。

5月の金沢萩神社のお祭りのときも見せていただきましたが、生の演奏は全然ちがいます。

会場の照明などもあります。人形遣いの方も人形そのものも生き生きと見えました。

横瀬の人形は舞台のつくりがすばらしく宮大工の方の彫刻や回り舞台の風景画も名のある方の絵という事で見事なものでした。

白久の人形も一体30〜50万円もするもので大事に使われているとの事です。



二人使いの人形で中腰で大変だそうです。若い方も参加されています。実行委員会顧問の栃原さんのお話から県内に以前は12、3ヶ所あったが、今演じられているのは4ヶ所。そのうち3ヶ所が秩父でどこでも後継者不足という事です。このすばらしい文化をぜひ若い人達にも観て欲しいと思いました。

株価「15年ぶり高値」というが

日経平均株価が15年ぶりの高値となりました。安倍首相は株価上昇が「消費に結びつき、経済成長にプラスになる」と自己満足します。

しかし、実態は、円安による海外投機筋の「買い」と、公的資金による買い支えが株価を押し上げているだけです。株高は政

府の露骨な株価つり上げ政策によるものです。日本経済の回復などはありません。

日本株の安売り

日本の証券市場では、海外投資家が株式の3割を保有し、日々の取引の6割を占めます。海外投資家から見れば、円安の進行でドル表示の日本の株価は割安となります。株価をドル換算すると、ドル表示の株価はほとんど上がっていません。円表示で20%上がった株価もドル表示では2%しか上がっていません。

年金の運用拡大

株高のもつ一つの要因は、公的資金による買い支えです。これを行なっているのが公的年金資金と日本銀行です。

公的年金を運用することを政府は昨年10月、株式による運用を大幅に拡大することを決めました。

厚生年金と国民年金の積立金は合わせて約130兆円。以前は12%だった国内株の運用比率を25%に引き上げます。約17兆円もの巨額な資金が新たに株式投資に回り、株価をつり上げます。

(しんぶん赤旗日刊紙より)

議員のひとりごと

常山 知子

先日、東京の山の会への友人7人を案内して破風山に登りました。時間の関係で皆野アルプスコースは歩けませんでした。風戸から関東ふれあいの道」を往復しました。良い天気にも恵まれ、破風山はとても賑わっていました。

下山して水とみどりのふれあい館」で少し遅い昼食。おすすぬメニューは地元の方々が作る天ザルソバ友人たちは、久しぶりの登山と温泉にも入り満足顔で帰って来ました。

その時の様子を書いた私のブログにコメントが寄せられました。

町営温泉、静かにのんびり入れてよかった。おソバもおいしかった。「カートマップを用意していただきありがとう。他のコースも登りたい。」体を鍛えてまた伺います。「町に遊びに来てくれる人を増やしたい。皆野にはもっと楽しいところがありそうだ！」と又来てもらえるよう、案内人！がんばります。3月議会がはじまります。「こちこそ頑張らなければ！」

大企業の内部留保を賃上げに！

原発ゼロこそ経済に展望ひらく！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

町議会議員 常山 知子

電話・F A 62-6733